



国立研究開発法人 森林研究・整備機構

森林総合研究所林木育種センター九州育種場



八代市役所経済文化交流部文化振興課

## 今は無き名木の後継樹、「お祭りでんでん館」に里帰り

### ー 林木遺伝子銀行110番による樹木の増殖サービス ー

#### ポイント

平成30年1月の突風により倒れた熊本県八代市坂本町の市指定天然記念物「薬師堂の銀もくせい」の後継樹の苗木が、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター九州育種場から八代市に里帰りします。

#### 概 要

国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター九州育種場（熊本県合志市）では、我が国の貴重な林木遺伝資源の保存を図るとともに、これらを試験・研究に活用することを目的とした林木ジーンバンク事業を実施しています。この事業の一環として、各地の天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存と併せて、所有者等の要請によりさし木やつぎ木で同じ遺伝子を受け継いだ後継クローン苗木を増殖するサービス「林木遺伝子銀行110番」を行っています。今回、里帰りする苗木は、このサービスを利用して増殖を要請された八代市指定天然記念物「薬師堂の銀もくせい」の後継樹の苗木です。

○里帰り日時及び場所 日 時：令和3年10月19日（火） 14時（雨天決行）  
場 所：「お祭りでんでん館（八代市民俗伝統芸能伝承館）」  
八代市西松江城町1-47

#### 問い合わせ先

○国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター九州育種場  
事業担当者：遺伝資源管理課 課長 柏木 学  
収集管理係長 飯田 啓達  
広報担当者：連絡調整課 連絡調整係長 川部 美奈子  
Tel：096-242-3151 Fax：096-242-3150

○八代市役所 経済文化交流部  
担 当 者：文化振興課 文化財係 山内 淳司  
Tel：0965-33-4533 Fax：0965-33-4516  
民俗伝統芸能伝承館 西山 由美子  
Tel：0965-37-8737 Fax：0965-37-8738

本資料は、熊本県政記者クラブ、八代市役所記者クラブに配布しています。

## 背景・経緯

全国には、学校や神社など身近な場所で地元の人々に親しまれ、ふるさとのシンボルとなっている天然記念物や巨樹・名木等が数多くあります。こうした巨樹・名木等は、長い年月にわたって、厳しい気候に耐え生育し続けていることから、自然環境に対する適応性や抵抗性に優れていることが見込まれ、林木遺伝資源として貴重なものです。

このため、林木育種センターでは、これら巨樹・名木等の収集・保存を進めるとともに、所有者等からの要請により、衰弱しているこれら樹木の後継樹の苗木を増殖し、里帰りを行うサービス「林木遺伝子銀行 110 番」を平成 15 年から実施しています。これまでに全国から 306 件の要請があり、229 件の巨樹・名木等の後継樹の里帰りを行ってきました。後継樹の苗木は、さし木やつぎ木で増殖したクローンの苗木であり、親木と同じ遺伝子を持っていますので、二代目として大きく成長することが期待されます。

## 内 容

今回里帰りする後継樹は、熊本県八代市坂本町「薬師堂の銀もくせい」です。

樹齢およそ 510 年と推定される「薬師堂の銀もくせい」は、幹周り約 3.3m、高さ約 15.6 m と大きく、この地に薬師堂が建立された時に植えられたと伝わっており、花の時期には谷間に沿って遠くまで芳香が漂い地域で親しまれる市指定天然記念物でした。しかし、平成 30 年 1 月の突風により倒れてしまい、伐採・撤去を余儀なくされました。

「林木遺伝子銀行 110 番」の申請は、被害に遭う 4 年ほど前の平成 26 年 2 月、既に八代市教育委員会からなされており、受諾した当育種場で後継樹の育成に取り組んできました。育成された 4 本のうちの 2 本が、令和 3 年 7 月にオープンした「お祭りでんでん館（八代市民俗伝統芸能伝承館）」に里帰りすることとなりました。

## 写 真



倒れた「薬師堂の銀もくせい」（平成 30 年 1 月）

画像提供 やつしろぶれす



里帰りを待つ苗木（令和 3 年 6 月時点）